

情報家電オントロジー構築に向けて

2006年1月27日

沖電気工業株式会社

森田 幸伯

情報家電オントロジーの背景

課題

デジタル情報家電は使い方が難しい。現在のコールセンターへの半数近くが「使い方相談」になっている。

難しさの要因は、「利用には、多様な知識が関連してくる」ことである。

解決

メタデータを利用することで、利用者に必要な情報を適切に提供。
(step1:コールセンターで活用、step2:WEBで利用者が直接活用)

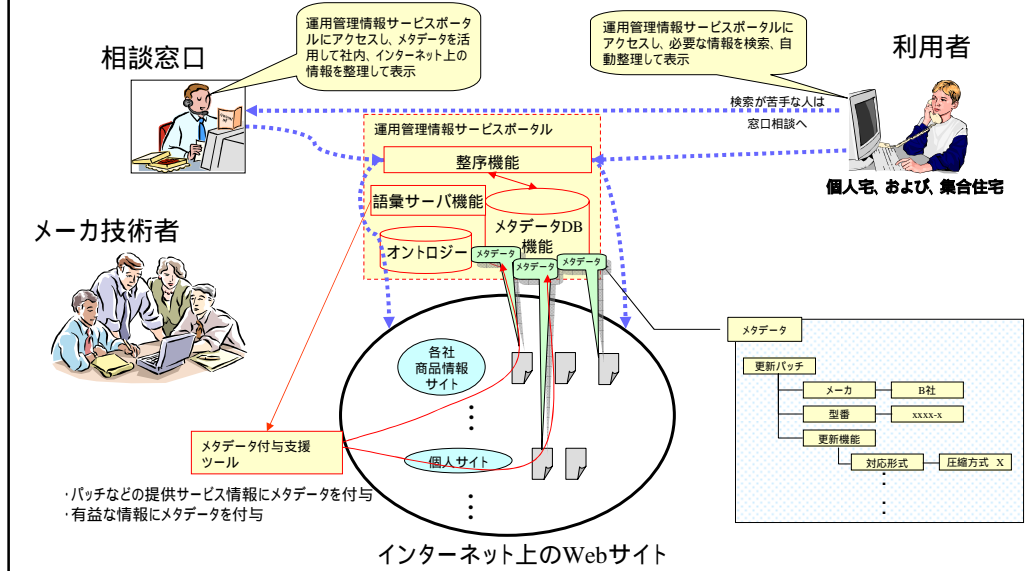


運用管理ポータル

このためにオントロジーを構築する。

運用管理情報サービスポータルを活用イメージ

メタデータにより、デジタル情報機器に関連する情報を精度高く収集活用する



検討方針と検討状況

方針

- ドキュメントの発見を目的としたオントロジー
- 相互運用性の観点で検討したい
- オントロジーはオープンにする予定
- 他のオントロジーとの連携を図りたい
 - 関連オントロジーとして、程度表現オントロジーの検討と連携を予定している
- 複雑化を避けるため、軽量級の方角にしたい

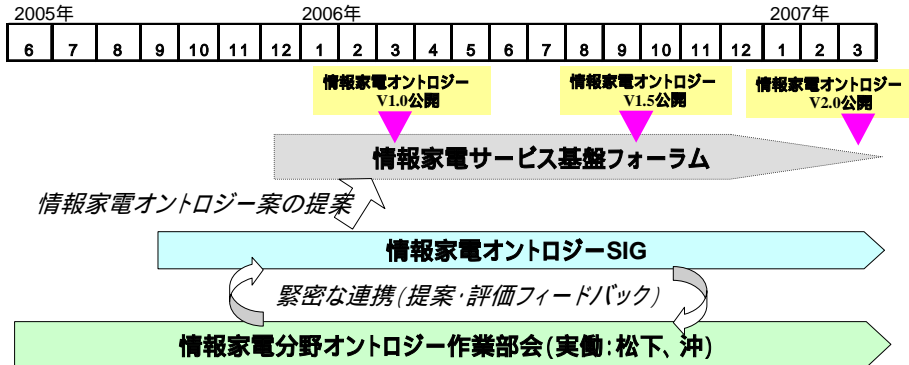
状況

- ハードディスクレコーダを例として記述実験を行っている
- SIGを利用した意見交換を検討中

情報家電サービス基盤フォーラムとオントロジーSIG

デジタル情報家電の運用・活用に関する情報の発見に役立つオントロジーの検討と、オントロジー関係の意見交換の場

- 既存オントロジーとの整合を図る(既存オントロジー調査実施)
- 他分野のオントロジーとの連携可能な形で策定する
- インターネット上のオントロジー活用へ貢献する(SemanticWEB)



デジタル情報機器プロジェクトの全体構成

